



## マスクと緊急事態宣言

岡田 安弘

連れ合いはミシンに余念がない。新型コロナウイルス騒動でマスクが売り切れて以来、ありあわせの布切れでマスクを生産中だ。出来上がり次第、子や孫が取りに来る。我が家だけのことではなかろう。ならやまの仲間の家庭でも、様々な工夫をしておられると推察する。

### 全世帯にマスク 2 枚

TV の国会中継を見て、センセイ方の行儀のよさに感心する。与野党そろってマスク姿。安倍首相もマスクを通して答弁。これが話題の布マスクかと目をこらす。

首相が全国の全世帯に布マスクを 2 枚ずつ配ると決断したのは 4 月 1 日。エープリルフールの冗談と思いきやマジだった。翌 2 日、突然の発表。

アベノミクスをもじって「アベノマスク」がネット上をにぎわす。声なきヤジと言えよう。「もらえるだけで、ありがたい」と言った声もなかったが、大半は「マスクより休業補償を」といった切実な声。

この構想は早くからあったらしい。首相官邸の一人が「全国民に布マスクを配れば、不安はパッと消えますよ」と提案、メーカーと掛け合う内に事態は深刻化したのが真相のようだ。

### 賛否両論

おかげでマスクには種類があることを知る。どちらかと言うと布製は不利。繊維の隙間が大きい分、飛沫を防ぐのに適さないという意見や洗って繰り返し使用する際、管理に注意しないと雑菌がはびこるとの説もある。

5 年前、英国の医学誌に載った論文を紹介する記事が目にとまる。1600 人の医療関係者が、隙間の小さい医療用のマスクと布製マスクに分かれて感染リスクを調べた。結果は布製の方が、呼吸器疾患やインフルエンザ症状を示した人が多かったそうだ。世界保健機関も布製マ

スクは推奨していない。

### 税の使い道

政権党の幹部からも「政策の優先順位を間違えている」との声が聞こえた。配るなら全世帯でなくてよいと思う。医療現場や生活困窮者を優先すべきではないのか。首相がマスク配布を発表する前、政府の専門家会議は「このままでは医療現場が機能不全に陥りかねない」と警告を発していた。いま必要なのは、医療崩壊を防ぐための資金と人材だ。

布製マスクは 1 枚 200 円程度と、官房長官が記者の質問に答えている。全世帯を 5000 万戸として、2 枚掛ける 200 円を計算してほしい。送料も巨額だ。税金の使い道が違うのは私だけではないだろう。

### 緊急事態宣言

安倍首相が東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、兵庫、福岡の 7 都府県を指定して、緊急事態を宣言したのは 4 月 7 日。すでに東京の感染者数は爆発的増加（オーバーシュート）寸前。他の大都市も似たり寄ったりだ。

医療施設での集団感染（クラスター）や医療スタッフの感染も目立つ。医師、看護師、ベッド、高度な医療器具の充実が急務だ。知事や医療従事者からは「早く緊急事態を宣言すべきだ」との声が高まっていた。政府は経済の落ち込みを懸念して、宣言に踏み切れなかった。

▽

マスクの売り切れ状態は、解消の目途が立っていない。政府はようやく、一部で配布すると表明。全国に行きわたるのは、いつのことか。安倍さん、遅いよ。マスクも緊急事態宣言も。「1 か月の辛抱で治まると思わない方がよい。1, 2 年の覚悟が必要だ」。ノーベル医学賞学者の山中伸弥・京大教授は警鐘を鳴らしています。耳に届きましたか？

▽

閑話休題。「一家に 2 枚」と題したサザエさんの漫画を家族がスマホで見つけた。爆笑ですよ。まだの方はご覧ください。